研究成果を学会で発表
評価を得られたことが大きな転機に

大王まやさん　博士前期課程 総合工学専攻 化学・物質工学コース 2年

工学部では4年次から研究室に所属します。私が進んだのは「高分子材料研究室」。現在も引き続き大学院で、サトウキビやトウモロコシなど植物由来の「生分解性プラスチック」について研究中です。海洋汚染などプラスチックゴミによる環境問題が世界的に注目される中、環境にやさしく、強度も強いプラスチックの開発に興味を持ちました。大学院生にとって転機となる学会発表は、私にとっても心に残るものでした。昨年7月に開かれた学会で「光・熱ハイブリッド架橋剤を用いたポリ乳酸の接着界面強化」をテーマにポスター発表を行ったところ、優秀発表賞をいただくことができ、日ごろ取り組んでいる分野が注目されている、期待されていると実感。ますます研究を頑張ろうと思いました。来春の大学院修了後は、開発職に携わる予定です。就職活動の際、企業の担当者の方に大学院でどのような研究に取り組んでいるか技術説明を行ったのですが、分かりやすい説明を心掛けることができたのは、学会発表の経験が大きかったと思います。

私は学部のコース選びの段階から「高分子一筋!」でした。自分のやりたいワクワクすることが見つけられて、よかったと思います。後々悔いを残さないためにも、1年から3年までの間に履修する専門科目や実験を通して、将来の研究分野について少しずつ方向性を定めておくといいですね。それでも、第1希望の研究室に進めるかどうかは成績次第。3年次までの成績が判断要素になるので、1年次からコツコツ勉強を頑張っておくことが大切です。

大王まやさん
DAIOU Maya

世界レベルの研究に参画。貴重な経験を通して研究に臨む意欲が高まっていきます。

大学 1年 2年 3年 4年 卒業 研究室に所属 1年 2年 大学院 博士前期課程（2年） 修了 就職

1年 2年 3年 修了 博士後期課程（3年） 研究者 就職

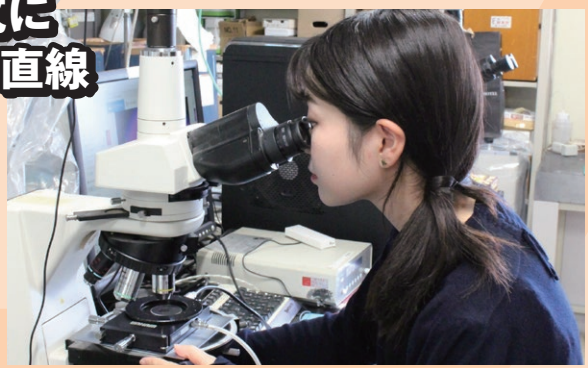
いまココ!

Turning Point

学会で優秀発表賞を受賞

「第7回高分子学会グリーンケミストリー研究会シンポジウム・第21回プラスチックリサイクル化学研究会研究討論会合同発表会」において優秀発表賞を受賞しました。

高分子研究に向かって一直線



現在も引き続き、熱心に研究に取り組んでいる大王さん。この日は、偏光顕微鏡を使って球晶成長速度を計測していました。